

これまで自動車業界が取り組むべき重要課題として「脱炭素」「脱ハードウェア」について触れてきた。今回は、Society

（ソサエティ）5.0が目指す姿、経済発展と社会課題解決の両立を実現するにあたり、最後の重要な論点である「脱」海外調達依存について考察する。

この理由が原因だ。特に半導体不足は、産業構造におよび経済安全保障政策を根本から見直す議論の引き金となった。

こうした状況を受け、日本政府は昨年11月、製品供給

に陥ったことが原因だ。特に半導体不足は、産業構造におよび経済安全保障政策を根本から見直す議論の引き金となった。



前野 健二（まえのけんじ）コンサルティング事業本部戦略コンサルティング部Autos Sector Consulting室副室長

脱・海外調達依存

今年進む自動車の「脱」(4)

る、ダイヤモンドの「CASE」のコンセプトの発

スラの株式時価総額がトヨタを越えたことは記憶に新しい。

昨年自動車業界が取り組むべき重要課題として「脱炭素」「脱ハードウェア」について触れてきた。今回は、Society

（ソサエティ）5.0が目指す姿、経済発展と社会課題解決の両立を実現するにあたり、最後の重要な論点である「脱」海外調達依存について考察する。

この理由が原因だ。特に半導体不足は、産業構造におよび経済安全保障政策を根本から見直す議論の引き金となった。

こうした状況を受け、日本政府は昨年11月、製品供給

に陥ったことが原因だ。特に半導体不足は、産業構造におよび経済安全保障政策を根本から見直す議論の引き金となった。

この理由が原因だ。特に半導体不足は、産業構造におよび経済安全保障政策を根本から見直す議論の引き金となった。

